

同世代の感性を共有しよう！私たちのオススメ！！

★ SUPPORTER'S SELECTION ★

サポーターのみなさんに、最近読んでオススメしたい本、以前読んで、今でも心に残っている本などを紹介していただきます。本選びの参考にさせていただければ幸いです。

名古屋 **秋田桃子さんオススメ**

『一日江戸人』
杉浦日向子 著 (新潮文庫2005)
名図開架210.5:Su48

新しいファッションや生活を試してみたいそのあなた、江戸っ子はいかがでしょう？この本では今とはまったく違う江戸の人々の衣食住や、お殿様、大奥の生活を垣間見ることが出来ます。丁寧なイラストがそこかしこに描かれていて、ぜひみていただきたいのが「大江戸アルバイトニュース」です！あなたにあった江戸人タイプがわかりますよ。他にも美女の基準や、ベットの事情などふんだんに盛り込まれていて読み応えもパッチリです！

名古屋 **譽田紗菜さんオススメ**

『善人長屋』
西條奈加 著 (新潮文庫2012)
名図開架913.6:Sa19

表向きは人の良い者しか住んで居ない善人長屋。しかし、彼らは隠し買、情報屋、美人島など裏稼業を営む「小悪党」だった。その隠し買の娘であるお縫と住人である小悪党連のコミカルなお話です。お縫の周りにはほぼ悪党しか居ませんが、彼らは「人を殺さない」事がモットーであり、困っている人のために悪知恵を貸して解決する善人な悪党なのです。そんなジレンマに悩むお縫や周りの個性ある長屋のメンバーにほっこりし、時に小悪党の人情話に泣きそうになります。読後はスッキリすること間違いなしです。

名古屋 **伊藤沙笑さんオススメ**

『マチルダは小さな大天才』
ロアルド・ダール 著 宮下嶺男 訳 (評論社2005)
名図開架938:D13 外部書庫938:D13

主人公はどこにでもいる普通の子の女の子。ところが彼女、実はとんでもない天才少女だった。果たして少女は、意地悪な両親、そして横暴な校長先生を懲らしめることができるのか。小学生時代、ロアルド・ダールコレクションが大好きでした。大学生になった今、再び手に取って読んでみると、どれも心温まり少し笑えるお話ばかりでした。現代社会に呑まれ、身も心も疲れ切っているあなたにオススメ。本を開くとスッと童心に帰れる、そんな作品です。

名古屋 **柴垣夕里さんオススメ**

『不思議の国のアリス』
ルイス・キャロル 著 高橋康也 訳 (東京図書1980)
名図開架933:C22

私はアリスをモチーフにしたドラマを見た時に、ふとアリスとはどのようなお話だったのかを思い出していました。思い出して行く中でアリスの本が読みたくなったので手に取りました。実際に読んでみるとアリスの不思議な旅が鮮明に描かれ、謎のキャラクターたちに出会う事により不思議の国でアリスがとんでもない出来事を経験していくお話しだと分かりました。本書を読むと何か新しい事を始めるのに役立つのでぜひ何か新しい事を始める時に読んでください。

名古屋 **坂野果穂さんオススメ**

『日本人と日本文化』
司馬遼太郎、ドナルド・キーン 著 (中公新書1972)
名図開架210.04:Sh15 豊図開架210.04:Sh15

著書であるどちらの名前も聞いたことがあるはず。二人が紡いでいくのは、「日本」を中心として展開される対話である。こちらら垣間見ることのできる知識の豊かに、どれ程「日本人」と自覚して生きてきたのかと自身の人生を振り返ってしまう。「日本や日本人を知り、そして考える」ことの大切さが分ける一冊。「グローバル人材」になることが求められる私達は、世界中の人と関わる中での必須事項を覚えてもらえるかもしれない。

名古屋 **目黒識貴さんオススメ**

『似ている英語』
おかべたかし 著 (東京書籍2015)
名図開架834:O37

英語を学ぶのが好きなので、トップのメンバーが薦めていたこの本を読んで、「英語を一言語として楽しむ」ことを存分に味わいました。写真家の撮った綺麗な写真と、楽しい解説というシンプルな構成の本です。「何でもここはtableじゃなくてdeskなの？」など、英語を勉強するにあたって、似ている単語によっちゃうお目にかかって辟易している人！必読ですよ！

名古屋 **鈴木菜々さんオススメ**

『ジキルとハイド』
ロバート・L・ステイヴンソン 著 田口俊樹 訳 (新潮文庫2014)
名図開架933:St5

この話は、二重人格を題材にした、有名な怪奇小説です。ある時から、紳士「ジキル」の家に、異様な雰囲気を持つ男「ハイド」が入り始めます。このハイドという人物が、ジキルの中に現れたもう1人の人格です。この本では、「いい人」のジキルが、ハイドの行う恐ろしい行動に恐怖を抱きながらも、秘めていた欲望を解放する快感に、麻薬のようにはまっていく姿が描かれています。矛盾した感情を抱きながらも、自分の欲望に引きずり込まれて行く様子が、思わず背筋がぞくぞくする作品です。

名古屋 **織田彩花さんオススメ**

『約束』
石田衣良 著 (角川文庫2007)
名図開架913.6:I72

苦しいこと、悲しいことが起こった時に人はどのように前を向いて再び歩き出すことができるのか、それがこの小説には、ありありと書かれています。この小説の中の出来事は現実で自分にも起こるかもしれないことです。その中で登場人物たちは絆や思いを力にして立ち直っていきます。一つ一つの話に引き込まれて、読み終わった後に少し考えさせられる作品です。これは短編集になっていて、きつと気に入る話が見つかります。感動したい人におすすめの一冊です。

名古屋 **小島友里亜さんオススメ**

『小宮一慶の「日経新聞」深読み講座』
小宮一慶 著 (日本経済新聞社2016)
名図開架330:Ko65

この本は「日経新聞って読んだ方がいいって言われているけど、難しくてどうやって読めばいいのかわからない」人向けの本です。筆者が実際の記事を使いながら詳しく解説してくれます。私が本書で印象に残った台詞は「自分で仮説を立てながら「世の中の流れを読む力を身につけること」です。これから社会人として生きていく上で基礎であり、最も大切なことだと感じました。そうだ、経済新聞読もう。

名古屋 **井下茜さんオススメ**

『ポアロ登場』
アガサ・クリスティ 著 真崎義博 訳 (早川書房2004)
名図開架938:C58

今や世界に知らぬ人のない名探偵エルキュール・ポアロ。彼が「灰色の脳細胞」を駆使して良き相棒のヘイスティングスとともに14の謎に挑む！ミステリアス史上屈指の名コンビが活躍するお話です。この作品は14編の短編で出来ているため、1編が長くありません。あまり本を読まない人でも、時間をかけずに読むことが出来ます。さらに、ミステリーなので謎を解きながら楽しく読むことが出来る1冊です。

名古屋 **西山小晴さんオススメ**

『震える岩—霊験お初捕物控』
宮部みゆき 著 (新人物往来社1993)
名図開架913.6:Mi7

個性的なキャラクターが多く登場する江戸が舞台のSF(?)ミステリー小説です。特に主人公のお初はとて魅力的なキャラクターです。普段、時代物はあまり読みませんが、このシリーズは面白くてついつい読み返してしまいます。本作は「忠臣蔵」がモデルになっており、作中で散りばめられた点と点が最後に繋がるので読み終えた時の爽快感はたまりません！時代物なのに現代風で読みやすく、時間も忘れて読んでしまう作品でした。

名古屋 **佐藤優さんオススメ**

『きつねのはなし』
森見登美彦 著 (新潮文庫2009)
名図開架913.6:Mo54

京を舞台に暗く妖しさを醸し出す作品。この作品は4つの短編で構成されていて、それぞれの話が少しずつ絡んでいき、読み進んでいくうちに想像力を掻き立てられるような奇妙な気持ちになり、じわじわ追い詰められるような恐怖が襲ってきます。一度読んでみただけでは、もやもやが消えないので、ぜひ何度も読んで理解を深めてほしいです。

名古屋 **大谷由季さんオススメ**

『すぐそばの彼方』
白石一文 著 (角川書店2005)
名図開架913.6:Sh82

大物代議士の息子である主人公が、四年前に起こした不祥事から精神に失調をきたし、その後父の秘書を務めながら自身の再生に努めるお話です。この主人公を見てみると、「自分にもこういう弱い部分があるある！」と共感できる点があると思います。政治や選挙に詳しくない方でも楽しんでもらえるストーリーで、オススメの一冊です！

名古屋 **永谷瑛里香さんオススメ**

『キティの涙』
山口裕子 著 (集英社2009)
名図開架674.3:Y24 豊図開架674.3:Y24

実は売れないキャラクターだったキティちゃん。頭でかちでバランスが悪くて、何を着せても似合わない……。そんなキティちゃんがなぜ世界中で愛されるようになったのか？ハローキティ3代目デザイナー山口裕子がキティちゃんと共に歩んだ半生を描いたノンフィクションです。仕事に対するチャレンジ精神を教えてください一冊です！

名古屋 **新庄有喜子さんオススメ**

『飛ぶ教室』
エーリヒ・ケストナー 著 池内紀 訳 (新潮文庫2014)
名図開架943:Ka78

物語の舞台は、クリスマス時期のドイツのギムナジウム。5人の少年が身の回りで起きる様々な事件を、知恵と勇気を振り絞って解決していくストーリー。作者のケストナーは物語の中で、子どもの偉大さ、そして知恵と勇気を合わせ持つ事の大切さを語っている。少年達以外の登場人物や、作品が書かれた時代背景にも注目してぜひ読んで頂きたい。きっとあなたも、忘れていた幼い頃の事を思い出します。

豊橋 **永田亜紗子さんオススメ**

『日本の最も美しい図書館』
立野井一恵 文 (エクスナレッジ2015)
豊図開架010.21:Ta94 名図開架010.21:Ta94

図書館なんて、本が置いてあるだけの建物…そう思っていないませんか？いいえ、違います。昔の建物が使われている図書館、キノコの形をした図書館、まるで近未来のようなデザインの図書館…。この本の中には、一度は行ってみたいくなる、そんな図書館がたっぷり41館も紹介されています！日本全国を実際にまわなくても、ページをめくるごとに、図書館をめぐる事ができるのです。あなたの好きな図書館はどこですか？

豊橋 **秋山菜野花さんオススメ**

『名画を読み解くアトリビュート』
木村三郎 著 (淡交社2002)
豊図開架723:Ki39 豊図開架723:Ki39

西洋絵画を見ても、何が描かれているのかわからない！そんなことを考えたことはありませんか？誰が描かれているのか、どんな内容が描かれているのか、解説がないとわからないことってよくありますよね。実は、西洋絵画には登場人物や物語を説明するための「目印」が描かれているのです。この本にはその目印、アトリビュートがたくさん紹介されています。アトリビュートがわかれば、西洋絵画をもっと楽しむことができますよ！

豊橋 **杉浦啓介さんオススメ**

『日本人の心と建築の歴史』
上田篤 著 (鹿島出版会2006)
豊図開架521:U32

建築は、その折々の日本社会の状況や人々の精神的な面「日本人の心」を語るための一つの切り口です。本書は「歴史的背景を含めた人間社会が如何なる経緯で、建築形態に反映してきたのか」という視点で縄文時代から江戸時代までの日本建築の謎をハード・ソフトの面から解き明かしていく展開です。本書の内容が建築に対して歴史(時代背景)の比重が大きく、歴史好きには最高の一品です。

豊橋 **堀江萌さんオススメ**

『日本のブックカバー』
書友会監修 (グラフィック社2016)
豊図開架024.1:Sh99

書店で本を買おう、と掛けることが多いブックカバー。ブックカバーの文化は、日本独自のものだということをご存知でしょうか。ブックカバーは、単に本を傷や汚れから守るだけではありません。書店としては、客に持ち歩いてもらうことで、店の宣伝も狙っているのです。それゆえに、書店はブックカバーの意匠に思いを込め、工夫を凝らすのです。この本の中には、大型書店から街の書店まで、350以上が紹介されています。ブックカバーの世界の深さに驚かされ、実際に書店に足を運びたいと思ってしまう一冊です。

豊橋 **井上愛梨さんオススメ**

『ハプスブルクの実験：多文化共存を目指して』
増補改訂 大津留厚 著 (春風社2007)
豊図開架234.6:O89 名図開架234.6:O89

ひとつの国にたくさんの民族が暮らす、とはどういうことか考えたことはあるでしょうか。言葉も文化も違う人たちが混ざって暮らす…学校は？軍隊は？共通語は？どうするのでしょうか？この本では、かつて存在した多民族国家ハプスブルク帝国での、まさに実験と呼べるような数々の出来事が描かれています。今はなきヨーロッパの帝国に思いを馳せながら、日本にいるとあまり実感できない「多民族」について考えてみませんか？

